

# 小千谷市地域包括支援センター 通信

## 地域ケア会議 PR 版 1

発行 平成28年1月 No.2  
小千谷市地域包括支援センター  
小千谷市城内2丁目5号  
小千谷市役所内  
電話 0258-83-0807  
e-mail houkatu@city.ojiya.niigata.jp

## 地域ケア会議 - 地域包括支援センターの取り組み

～小千谷市介護保険事業計画～

◆ 地域ケア会議を通じて、医療・介護等の多職種が協働して知識や情報、地域課題を共有・把握し、地域支援ネットワークの構築を推進するとともに、問題解決機能の向上を図ります。

### 《目的》

- 地域課題の把握
- 関係機関と共に共有し、問題解決機能の向上
- 地域ネットワークの構築を推進する。



平成26年度より、小千谷市でも地域ケア会議を開催しております。

平成27年度も引き続き、関係機関の専門職や住民の皆様からも意見をいただき、地域や高齢者の支援についての課題や解決へ向けたアイデアを出していただきました。

### 具体的には？

高齢者の支援の充実を果すために、関係者や専門家が個別の課題について、一緒に考えます。

⇒共通する課題を持つ高齢者の発掘を繰り返し行い、その積み重ねによって、小千谷市の高齢者に共通した課題を明らかにします。

⇒地域づくりや、支援に反映させるためです。

### 地域ケア会議の目的

地域の力（人と人のつながりや助け合いの仕組みなど）を向上させることが目的です。

地域の課題を地域の皆さん、民生委員、ケアマネジャー、医師、警察、デイサービス職員、ヘルパー、保健師、包括など、みんなで知恵を出し合って考えていきます。



## 認知症と自動車運転について



高齢者の自動車運転はニュースでも大きな話題です。超高齢化が訪れようとする中で、自動車の保有台数の増加と共に、高齢者の運転が増えています。交通量の増加と共に交通事故も増え、その当事者に高齢者が多くなっているのが現状です。危険であるとわかっているにもかかわらず、生活や役割の為に運転せざるを得ない高齢者もあり、認知症の疑われる高齢者が運転しているケースが問題になっています。

認知症と診断されると免許の取り消し、または免許停止の行政処分がなされます。

### 地域課題：認知症の人の自動車運転をめぐる問題点への取り組み

在宅支援を行っているケアマネジャーと一緒に、運転をめぐる課題や必要な取り組みについて、警察署交通課や認知症疾患医療センターの医師からアドバイスを受けるための地域ケア会議を開催しました。

- ・ 認知症の人と道路交通法
- ・ 認知症の人の運転に関わる支援者ネットワーク作り
- ・ 高齢者の日常生活機能や自動車運転状況を詳しく知る
- ・ かかりつけ医と認知症専門医、警察との連携
- ・ 移送サービスや助け合いの仕組みを作ることが必要
- ・ 免許返納時の支援策
- ・ 本人、家族への働きかけや理解



#### 参加者

- ・ 警察署
- ・ 認知症の専門医師
- ・ 市内のケアマネジャー
- ・ 健康センター
- ・ 病院の相談員
- ・ 作業療法士
- ・ 高齢福祉係
- ・ 包括
- ・ 市外の包括、行政

### 気になる こんなことありませんか？ 自動車運転編

- センターラインを超える、または超えそうになり、ひやりとすることがある。
- 路肩側に乗り上げる・縁石にこすることがある。
- 車庫入れがうまく行かない(時間がかかる・こする・枠にうまくはいらない)ことがある。
- 普段通らない道や悪天候に運転すると、迷ったりパニック状態になることがある。
- 車間距離が短いと言われることがある。
- 長い時間運転できなくなった。(集中力が続かなくなってきた。)
- カーブをスムーズに曲がれなくなってきた。
- カーラジオをつけたり、同乗者に話しかけられると運転に集中できない。
- 標識や看板広告が多いと、必要なもの(行きたい店の看板や駐車場の入口)がうまく探せない。
- 工事でいつもの道が通れないなどのハプニングで、とっさの判断ができない。

(長岡市包括作成)

小千谷市認知症ガイド(認知症ケアパス)を活用して認知症講話  
認知症の理解について地域ケア会議を開催

in 第2地区民生委員会議



民生委員と高齢者支援に関わる意見交換を行いました。

- 意見交換から見えてきた地域の課題とは…

課題1 〈地域の中で認知症や介護に対する若い世代の理解が足りていない〉

解決方法を検討

- 高齢者と生活している若手を対象に地域で講演会を行う。
- 簡単な介護や認知症のパンフレットを作成し、民生委員が気軽に介護者家族と関われるきっかけを作ると良い。

課題2 〈本人を支援者につなげるために信頼関係のある人を動かす必要性〉



- 信頼している人が誰なのか、キーパーソンを発掘する必要性あり。日頃からの世間話で情報を収集することが可能である。

課題3 〈ケアマネジャーが民生委員と連携不足〉



- ケアマネジャーは地域や近所の把握、アセスメントをすることが重要であり、支援能力の向上が求められる。
- お互いに連絡を密に取り合う。



番外

小千谷市地域包括支援センターの紹介

小千谷市地域包括支援センターは小千谷市から委託を受けて、高齢者福祉のための活動をしている機関です。社会福祉法人小千谷市社会福祉協議会の職員が市役所内に活動拠点を置き、事業を展開しております。

どうぞ、よろしくおねがいします。

出前でこんな地域ケア会議を行いました。

片貝住民センター



### グループで意見交換をしました。

『暮らしの学級』  
片貝在住の女性と『これからの介護保険』を語る地域ケア会議

- ◆ 地域の住民から介護保険に関して質疑応答（一部を紹介）
- Q1 ケアマネジャーはどのように決めればよいか。
- Q2 予防でもヘルパーは使えるのか。
- Q3 介護保険の負担が変わったようだが詳しく知りたい。
- Q4 ケアハウスはどんな施設？

- ケアマネジャーに当たり、外れがあると思う。
  - 介護保険認定申請を本人や家族ができないときはどうしたら良いか。
    - 成年後見制度の支援が必要
  - 市役所へ出向いての申請や平日対応が難しい人もいるのではないか。
  - 地域の支え合いについて考えていること
    - 自分でもこんなことならできると思ふことからやってはどうか。
    - 自分でできるボランティアに参加したい。
- いずれは自身の事！と、  
真剣な意見をいただきました。

### 認知症高齢者の徘徊についての地域ケア会議

(地域包括ケア部会で開催)

・徘徊で捜索となった認知症事例を検討した結果

徘徊シルバーSOS ネットワークに登録されている事業所が少ないことがわかった。

#### 【課題】徘徊シルバーSOSネットワーク作り

##### ○個人の支援策

- ・名前の表示、日頃から写真の準備や必要時の体制作りをする。
  - ・GPS埋め込みの靴の中敷き等(介護機器の導入)を検討する。
  - ・事前に警察へ高齢者の情報を伝えておく。
- (自分で帰れないことがある、自分の名前を旧姓しか言えない、など)
- ・家族や関係者が、本人が居なくなった時の対応方法を話し合っておく(日頃の情報共有)

##### ○法人・サービス事業所

- ・徘徊SOSのFAXが届いたら、事業所内で情報が早期にいきわたるような体制作りを行う。
- ・送迎担当者など、当事者を発見しやすい外回りの職員へ伝達する。
- ・病院等の外来へも多くの人が出入りすることから、情報協力を得る。

##### ○地域・町内

- ・日頃から近隣に協力を求めておく。
- ・学校など福祉以外の所へ情報発信する。多くの目が得やすい。
- ・地域で認知症を理解していただく学習会から、コミュニティを形成する。

